

新春町長対談 2023

対談日…令和4年12月27日(火)



町長 × 二十歳

これから社会を担っていく二十歳の皆さん4人を役場に迎え、山下博一町長と「上里町の成長」について語っていただきました。(敬称略)

町長 本日はお忙しいなか、お集まりいただきましてありがとうございます。どんな方々がお越しになるのか、とても楽しみにしていました。今日は皆さんの町に対する想いをお聞かせください。よろしく願います。

上里町の成長について

上里町の知名度を上げたい

坂本 私は埼玉県加須市の大学に通っています。その大学の先生に上里町の読み方がわからないと言われてしまいました。サービスエリアがあるものの、知名度の低さを感じてしまいました。

町長 埼玉県に住んでいる方ですか？

坂本 そうです。「上」の字が「う」なのか「かみ」なのかかわからないと言われました。

町長 上里町もまだまだ頑張らないといけませんね。

坂本 加須市はリサイクル率が全国でもトップクラスの自治体なんです。燃えるごみも「燃やすごみ」と「プラスチック類・製品」で別の袋に入れて集積場に出さなければいけません。分けるのは大変ですが、市民の方の努力で高いリサイクル率をキープしてい

ます。すぐに地名度が上がる訳ではないですが、こういった取り組みを上里町でもやってみたらどうでしょうか。

町長 町もきれいになり、知名度も上げれば素晴らしい取り組みになりますね。ぜひ、参考にさせていただきます。上里町でも12月から庁舎北側駐車場に新たにリサイクルステーションを設置しました。上里町がきれいになるための取り組みは引き続きやっていきたいと思います。

坂本

それと、上里サービスエリア以外にも有名な施設ができれば町の知名度はもっと上がると思っています。高速を利用される町外の方々が、サービスエリア周辺だけに立ち寄ることのないよう、もう少し町内を見てみようと思わせるものが欲しいですね。そうすればもっと関係人口が増えていくと思います。

町長

上里町に訪れる機会が増えることで、比例して関係人口も増加する。その中で、上里町に住んでみたいと考える方が出てきてくれればうれしいですね。

上里町に愛着をもてる取組を

後藤

私は中学校で実施している町内企業さんの職場を体験する「職場体験」のようなイベントをもっと行ってほしいです。自分の住んでいる町と関わる機会が増えれば、町に対する愛着も高ま

KITANI Itsuki



きたに いつき
木谷 樹

絵を描くことが小さいときから好きで、現在は大学の芸術専門学部で絵の勉強をしています。将来の夢は、小学生から憧れていた漫画家です。今も編集者さんと一緒に頑張っていて、近いうちに自分の漫画を世界に届けたいと思っています。趣味は展覧会巡りです。

WADAYAMA Genki



わだやま げんき
和田山 元基

現在は、目標である看護師になるため、勉強しています。学校が休みのときには、老人ホームでバイトをするなど、高齢化が進行している状況を見据えて、いずれは老人ホームで働きたいと考えています。趣味は野球で社会人の人達と一緒に草野球を楽しんでいます。

GOTO Kaho



ごとう かほ
後藤 香歩

もともと読書が好きで、現在は大学の文学部で学んでいます。将来の夢は中学校からの目標だった教員になることです。小学校から中学校まではバレーボール、高校ではサッカーをやっていました。趣味は大学に入って行くようになった旅行です。

SAKAMOTO Saya



さかもと さや
坂本 紗耶

大学の法学部で法律について学んでいます。将来は、相手の立場を考え、寄り添うことができる公務員を目指しています。趣味は野球観戦とピアノです。野球は観るだけではなく、自分でもプレーしていて、小学校から始めて高校卒業まで続けていました。

町長

り、ふるさとを思う心が育まれると考えます。

後藤

私は、町長に就任した際に「子育て支援日本一」という目標を掲げました。母親が妊娠したときから、皆さんくらしいの世代までを町としてしっかり応援していきたいと考えています。その子ども達が成長し、愛着のある上里町に戻ってきてくれればなによりですね。

町長

それから、交流する場をもっと増やしてほしいですね。大きくても小さくても構わないと思っています。私は地元のお祭りやクリスマス会などに参加して、子ども達のために動いてくれる大人の姿を見てきました。「子どもものことを大事にしてくれているんだ」ということを今になって実感しています。

町長

コミュニケーションの移動エリアを他の市町まで拡大することは、上里町だけでは決められないことです。しかしながら、高齢者は増えていく、一方で町内の医療機関が不足する。私は、今後ひっ迫する可能性がある医療体制の改善が必要であると考えています。これは今後の課題ですね。

和田山

今ある商業施設の活性化を期待しています。それにより若い世代の定住も望めると思います。町外から訪れる方に対してもしっかりとPRすることで、魅力発信のひとつとなり、町の将来に繋がっていくと考えます。

町長

そうですね。町が発展していくためには、商業施設の力は非常に大きいものです。それから、私から和田山さんに質問したいのですが、看護師を目指している方として、町の医療体制についてはどう思いますか？

和田山

上里町には大きな病院がありませんね。そのために必要となるのが公共交通ですが、高齢者の方が自分で町外の大きな病院に行くための公共交通は不足しているように感じます。近隣市町と連携して、コミュニケーションの運行エリアが広がれば、少しは改善できるのではないのでしょうか。

上里町を活性化させたい

SNSを積極的に活用する町へ

木谷

インターネットを積極的に活用した広報活動を実施してほしいですね。現在も、FacebookやLINEを活用していると思いますが、若者はTwitterやInstagramをよく利用しています。若者の使用頻度が高いSNSを活用することで、より広い世代に向けた広報活動ができると思います。

町長

そうですね。町に興味をもってもらうためにも、若者向けの情報発信も必要ですね。

木谷

それから、YouTubeも有効的だと思います。多くの人の注目を得ることを「バズる」と言います。運もかなり必要になると思いますが、町のプロモーション動画やこむぎっちを使った動画などがバズれば、一気に上里町は有名になり、活性化も望めると思います。高齢者の方は観ないかもしれませんが、若者に焦点を当てた情報発信があってもいいと思います。

町長

それはすごくおもしろいですね。「将来YouTuberになりたい」という子どもがいるほど、YouTubeは若者に浸透していますよね。ぜひ、木谷さんが町のPR動画作ってくれませんか。木谷さんが描いた漫画でもいいですし、動画でも構いません。それをSNSで発信して

みたら「バズる」かもしれませんね。

木谷

はい。ぜひ、機会があったら作ってみたいですね。

町長

楽しみにしていますよ。

自身の成長について

町長

最後に、最初に皆さんに将来の目標をお聞きしましたが、自分の今後の成長について具体的な考えがあれば教えてください。

坂本

私は公務員を目指していますが、たくさんある職種のなかで、まだ具体的なところは決まっていません。しかし、自治体の職員として勤められるのであれば、市民や町民に寄り添える職員になりたいと思っています。

町長

それは非常に大切なことです。町民に寄り添った仕事をしなければいけないと私も思っています。長く勤めていると忘れてしまいうこともありますが、「チーム上里」として役場全体がそういった心持ちで仕事をするように努めていきたいですね。

後藤

私は中学校の教員を目指しています。大学の授業で、公立の中学校では家庭の環境で学校生活を楽しめない子ども達がいることを学びました。国籍の問題、経済的な問題、障がいであったり、理由はさまざまです。そう

町長

いった子ども達も含め全員が「楽しめる学校」という場所を作っていければと思っています。

町長

素晴らしい考えですね。教育は「教える」ことですが、個々の家庭環境によっては、それが難しいケースもあるでしょう。非常にデリケートなことで、学校がそういった部分も補っていければいいですね。後藤さんには、広い視野でいろいろなものを見て、聴いて、理想の教師を目指してほしいですね。

和田山

看護師として老人ホームで働きたいというのが第一目標ですが、最終的にはますます需要が高まる老人ホームを自分で経営してみたいと思っています。しかし、施設でアルバイトとして働いていたときに感じたことですが、利用者に対する職員さんの姿勢や対応が素晴らしく、自分にできるのだろうかという不安もあります。

町長

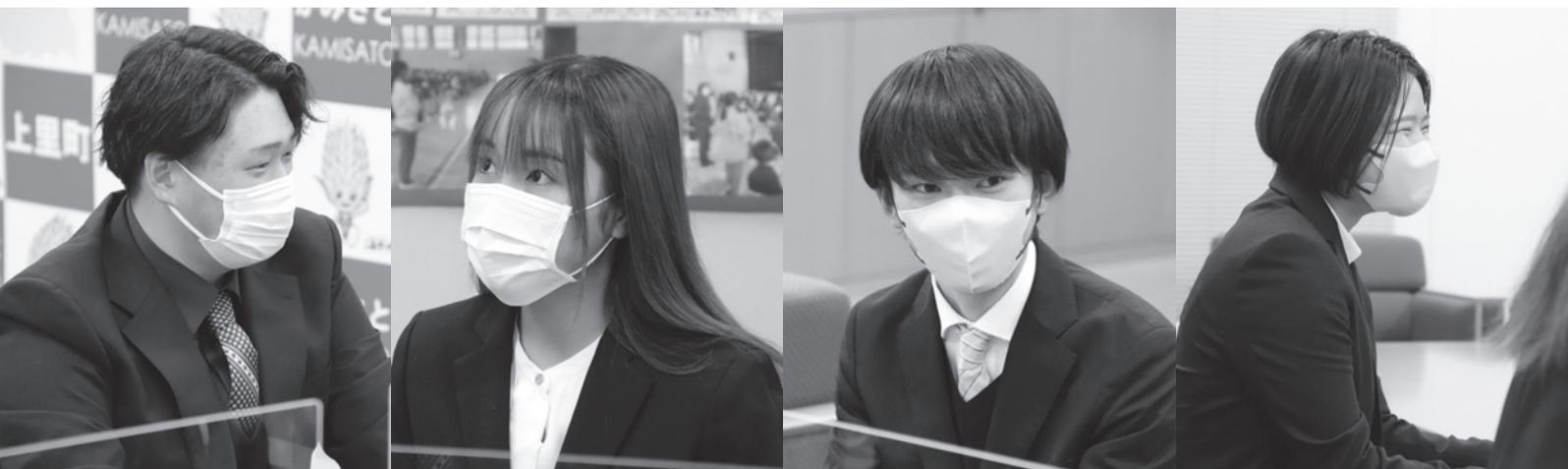
老人ホームで働きたいと思うきっかけは何だったんですか？

和田山

中学校での職場体験で老人ホームを訪れ、介護士さんと一緒に利用者さんの髪を乾かしたり、洗濯物を畳んだりしました。それがとても楽しかったのがきっかけです。

町長

目標をもつことは素晴らしいことです。経営者としてのマネジメントは看護師とはまったく違



うものですが、目標に向かって頑張ってください。

木谷

将来的には漫画家を目指してはいますが、必ずしも漫画でなくてもいいと思います。自分が作ったもので誰かを楽しませ、笑顔にすることが目標です。それは友達でもいいし、上里町の人でもいいし、世界中の人でもうれしいし、今後、自分がどれだけ頑張るかによって、その規模は変わっていくものだと思います。

町長

木谷さんに漫画家を目指そうと思わせた作品はあるんですか？

木谷

はい、もう連載は終わっていませんが、小学校6年生のときに読んだ漫画家を目指している若者を描いた作品を見て、熱い気持ちになりました。

町長

夢や人生の目標を持つことは素晴らしいことです。何かに挫けそうになったときでも、自身の目指す先がはっきりしていると、心は折れないものです。ぜひ、頑張ってください。

町長

本日は貴重な意見をたくさんありがとうございました。二十歳の集いで、再度皆さんに会えることを楽しみにしています。それぞれの夢に向かって頑張ってください。また、上里町の未来にぜひ期待してください。

対談者一同 ありがとうございます。

対談後記

対談前は役場全体に堅いイメージがありましたが、和やかな空気を作ってください、とても話しやすかったです。

坂本 紗耶

とてもフランクに話していただいたので緊張せずに対談できました。町長から、「相手に寄り添う気持ち」を感じました。

後藤 香歩

町のためにいろいろなことを考えてくれていることを実感しました。これからの上里町は、ますます良くなっていくと感じました。

木谷 樹

町長の話を通じて、上里町への期待がさらに高まりました。これからの町の発展が楽しみです。

和田山 元基





上里町二十歳の集い



▲上里町二十歳の集い実行委員の皆さん



1月8日(日)、ワープ上里で上里町二十歳の集い(旧成人式)が開催されました。

今年には民法改正により成人年齢が18歳に引き下げられました。上里町成人式については、式典名称を「二十歳の集い」に変更し、これまでどおり該当年度に20歳を迎える方を対象に式典を開催しました。

今年も実行委員によって式典が企画・運営され、上里町では新成人対象者が町内で331名、町外からの参加受付者18名のうち、262名が式典に出席し、二十歳の門出を祝いました。

振り袖や紋付きはかま、スーツに身を包んだ参列者が集い、会場は華やかな空気に包まれました。式典はすべて実行委員の手で進行され、町長からの式辞や中学校時代の恩師からのお祝いの言葉、参列者代表による意見発表などが行われました。

式典終了後は久しぶりに会う恩師や友人らと写真を撮ったり、話に花を咲かせたりしながら旧交を温め合う様子があちらこちらで見られ、会場内は参列者たちの笑顔で溢れていました。

※都合により式典に出席できなかった方には、記念品をお渡しいたしますので、2月10日(金)までの役場開庁時間内に生涯学習課まで案内状をご持参のうえお越しください。

問合せ：生涯学習課生涯学習係

35 | 1245





重要なお知らせ

集合写真の引換えを行います

当日式典でお渡しした記念品の中にある引換券をご持参のうえ、生涯学習課（町役場3階）までお越しください（郵送可）。郵送希望の方は、以下の①・②を生涯学習課まで郵送してください。

①記入済の引換券（電話番号も記入） ②返信用封筒（角3）

※②には、送付先の郵便番号、住所・氏名を必ず記入し、120円切手を貼ってください。

③郵送時の破損（折れ、キズ等）による対応はできませんのでご了承ください。

引換期間…2月6日(月)～3月24日(金)（土・日・祝日は除く）

問合せ…生涯学習課生涯学習係【☎35-1245】



賀美小学校卒業生



長幡小学校卒業生



七本木小学校卒業生



神保原小学校卒業生



上里東小学校卒業生（上里中学校地域）



上里東小学校卒業生（上里北中学校地域）